

電線材料カンパニー



電線材料カンパニープレジデント
村上 和也

中期経営計画の基本方針

成長分野を拡大し、 高収益体質への変革を実行

定量目標に対する進捗

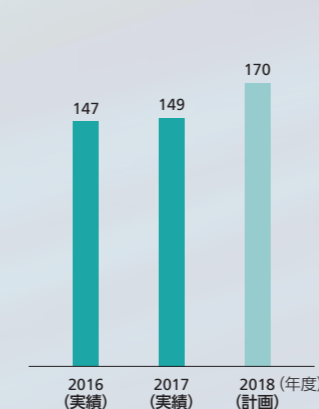
売上収益

(億円)



調整後営業利益

(億円)



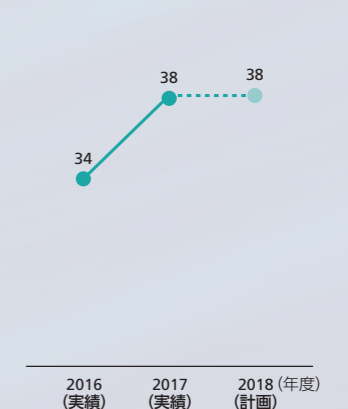
調整後営業利益率

(%)



海外売上比率

(%)



■ 中期経営計画に対する事業の進捗

市場環境と事業状況

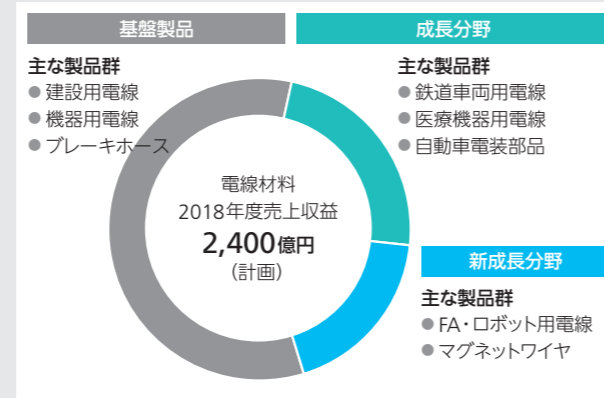
成長分野を拡大し、高収益体質への変革を実行しています。2017年度は、鉄道分野では中国拠点の生産能力増強と欧州での顧客拡大を実行。医療分野では、カテーテルとケーブルの融合製品の開発とプローブケーブルの生産能力の増強を図りました。自動車電装部品分野では、グローバル拠点での生産能力増強と新製品開発を推進しました。また、基盤製品を強化する施策として、機器用電線では急成長するFA・ロボット分野へ増産で対応したほか、EV用マグネットワイヤ向けに革新

的生産ラインの導入とHiFC®平角線の開発を推進しました。なお導入を進めていた新型連続鋳造圧延ラインが2018年4月に竣工し、基盤製品の競争力強化とHiFC®の量産体制が整いました。従来から成長分野としていた鉄道・医療・自動車電装部品の3分野に加え、新たにFA・ロボット用電線とマグネットワイヤの2分野を新成長分野に加え、この成長5分野で売上全体の約40%を占める構成となります。今後は成長5分野の構成比を50%以上へと拡大を図り、高収益体質へ変革させていく考えです。

2017年度取り組み概要

■ 成長分野を加速させる施策	
鉄道	中国拠点の生産能力増強・欧州顧客層拡大
医療	カテーテル・ケーブル融合製品の開発 プローブケーブル生産能力増強
自動車電装部品	グローバル拠点の生産能力増強・新製品開発
■ 基盤製品を強化する施策	
機器用電線	急成長するFA・ロボット分野への増産対応
マグネットワイヤ	成長を見込むEV用マグネットワイヤ向け 革新的生産ライン導入・HiFC®平角線開発
新型連続 鋳造圧延ライン	2018年4月竣工 ⇒基盤製品の競争力強化・HiFC®量産対応可能
FA・ロボット用電線、EV用マグネットワイヤを新成長ドライバーへ	

事業概要



成長5分野のアクションプラン

鉄道

中国では鉄道インフラの急速な整備が続いており、車両の生産も高水準となっています。これまで国内で培った車両用電線技術を駆使した新型特別高圧ケーブル端末などを中国市場へ投入しシェア拡大を図ります。欧州では、引き続き、ソリューション提案と生産能力増強によってハーネス事業の拡大をめざします。

医療

当社は、高精度・細径チューブ製造や極細同軸ケーブル、微細端末接続に関する高い技術を有しています。これらを融合し、ディスプレイ体内診断用カテーテルの開発を進め、カテーテル・ケーブル複合製品の量産化と拡販を推進します。また、プローブケーブルの新製品量産化と生産能力増強を推進していきます。

自動車電装部品

グローバル成長戦略の実行により、持続的な事業拡大を強気に推し進めていきます。2017年度も需要が旺盛だったABS一体型EPB(電動パーキングブレーキ)ハーネスや各種センサーにおいて、適用車種拡大に対応した生産能力増強を図ります。またEV用モーター向け配線部材は、モーター接続の自動組み

付けによって組み立て作業の簡易化を実現する製品であり、量産規模の拡大を図ります。

マグネットワイヤ

旺盛なEV需要に向け、HiFC®と革新的生産ラインによって事業拡大を図っていきます。HiFC®は一般的な銅と比べ、導電性や柔軟性、加工後の導電率回復、溶接性に優れ、モーターの高性能化に大きく貢献するものと考えます。

FA・ロボット用電線

当社は、自動車向けセンサーケーブルで培った耐屈曲ケーブル技術をベースに製品の開発・量産を行っています。2020年まで年率20%前後で成長するものと予測され、日本と中国、ベトナムにおいて30億円の設備投資を実行していく計画です。